



平成 28 年 4 月 21 日
九州地方整備局
1 2 時 3 0 分

【平成 28 年熊本地震対応】

『土砂災害現地調査チーム』による土砂災害状況調査結果

（熊本県・市町村の支援）について（4/19-20 日調査分）

<目的>

○国土交通省が設置した『土砂災害現地調査チーム』並びによる調査結果について、以下のとおり報告します。

1. 調査結果（4/19 調査分）

- ①目視による現地調査（「立野川地区」及び「山王谷川地区」）
：土砂災害専門家による現地調査及び家屋被害発生箇所や重要交通施設の復旧に対する技術的助言等
- ②マルチコプターによる空中からの調査「山王谷川地区」
：崩壊範囲と状況を撮影

2. 調査結果（4/20 調査分）

- ①防災ヘリ「はるかぜ」による上空からの調査
：土砂災害専門家による土砂崩壊箇所等の把握・確認
- ②「TEC-FORCE」による土砂災害危険箇所調査
：震度 6 以上を記録した 12 の市町村の土砂災害危険箇所の緊急点検を実施

計 376 箇所

3. 本日（4/21）の予定

- ①調査箇所ごとの危険度の評価および二次災害の危険性を判断し今後の対応方法について検討

※マルチコプターにより撮影した動画は提供可能です。

【問い合わせ先】国土交通省 九州地方整備局 河川部
河川計画課長 坂井 佑介
地域河川課長 鹿毛 英樹
電話：092-414-6331（代表）



立野川地区における現地状況



TEC-FORCE(砂防班)による現地調査



マルチコプター空撮映像(山王谷川地区)

『土砂災害現地調査チーム』のコメント

- 崩壊地上部には不安定土砂の残存が考えられるため、これらの土砂移動の監視が必要である。
- 集落内に堆積している土砂については、小規模な出水でも氾濫し周囲の家屋に被害を与える危険があることから撤去が必要である。

TEC-FORCE(砂防班)調査状況

